

行財政経営改善戦略に基づく取組の推進について

1 これまでの取組経過

本年4月に策定した「茅ヶ崎市行財政経営改善戦略」では、まちの経営資源が減少する環境下であっても、まちの魅力を維持・向上するために、現在行っている事業の中から資源を生み出すこととし、戦略で掲げる目標を達成するために、職員は、常に変革と創出の意識を持ち続け行動することとしています。

また、「茅ヶ崎市実施計画2025」に位置付けた事業を一つでも多く実施するため、行政資源の創出に向け、5月からは各課かいと対話に重点を置いた「変革と創出のタネ探し対話会」を実施し、アイデアレベルも含めると、400を超える改革のタネの発見に繋がっています。

2 戦略に位置付ける事務事業について

タネの中には庁内横断的に取組むことで大きな成果に繋がるものもあり、そうした取組を「庁内連携型取組」として整理するとともに、各課かいが推進する「各課推進型取組」に整理しました。

【庁内連携型取組】

庁内連携型取組については、庁内横断的な取り組みにより、戦略の取組期間に大きな成果を期待できる項目を位置付けることとします。(資料4-2)

【各課推進型取組】

各課推進型取組については、対話会を通して発見したしたタネのうち、各課かいが取り組むものを、今後、調整の上、位置付けることとします。

3 推進体制について

これまでの経営改善方針の推進や対話会を通じて、次のことが行政改革の取り組みにおける課題として挙げられました。

- ① 各課かいの取り組みに対するサポート体制が構築できていないため、取り組み状況に差が生じてしまう
- ② 各課かいでは、業務を遂行するための必要最低限の職員数となっているため、新たな取り組みを実施するには人的資源が不足し、抵抗感をもってしまう
- ③ 庁内横断的な取り組みについても、牽引役となる人的資源が不足している

これまでの取組における課題の解決を図り、変革と創出のタネの多くを花開かせるためには、庁内横断的な取り組みを推進するとともに、各課かいが推進する取り組みにもサポー

トや支援を行う体制の構築が必要不可欠であることから、戦略の取組期間中に各課かいとともに伴走してサポート及び支援を行う、新たな「プロジェクト体制」の構築に向けて検討します。

4 事務事業の推進について（全体スケジュールは資料4-3）

庁内連携型取組については、関係課との調整及び協議を重ね、一つでも多くのタネが花開くよう取り組みを進めます。

各課推進型取組については、各課かいから提案のあった内容や対話会において発見したタネを、課及び部で共有の上、取り組みを進めていくとともに、行政改革推進課において、順次サポート及び支援を行います。

また、戦略に位置付ける事務事業については、今後、行政改革推進課との調整や対話の継続によって決定します。